

「たけとよ地域クラブ通信」

～やってみたい！が きっとある。～



武豊町教育委員会
生涯学習スポーツ課
第4号 令和7年10月

陸上の楽しさをみんなで体験 —JAC武豊—

毎週土曜日の朝7時から9時まで、武豊小学校の校庭には元気な声が響きます。

今年で27年目を迎える陸上クラブ「JAC武豊」には、この日も約60人の子どもたちが集まりました。保護者も整地や計時、用具の準備などを手伝い、地域全体で子どもたちを支えています。JAC武豊は中学生も受け入れており、地域クラブとしても登録しています。練習メニューは短距離、ジャバリックスロー、幅跳び、高跳びと幅広く、子どもたちは自主的に取り組んでいます。4人のコーチが技術的なアドバイスを送り、高学年は試合にも挑戦します。代表の中川さんは「種目にこだわらず、何でもやってみようの気持ちで練習を考えています。大会入賞を目標にしている子や、運動会で最下位だった子が3位になることを目指している子など、自分で決めた目標に向け頑張っています」と話します。参加する保護者からは「体育の授業で行う種目を経験でき、走るのが速くなってリレーの選手になれました。クラブをきっかけに、親子で世界陸上を観戦したり、公園で一緒に走る習慣ができたりと、新しい生活の広がりも生まれました」との声も。地域に根差したJAC武豊は、これからも「走る・跳ぶ・投げる」の楽しさを子どもたちに伝えていきます。



走る！



跳ぶ！

JAC武豊



新しくスタート！武豊・富貴STC

学校施設を拠点とした活動



学校の枠を超えた交流

9月から活動を始めた地域クラブ「武豊・富貴STC」は、武豊中学校と富貴中学校のテニスコートを週替わりで利用し、ソフトテニスの練習に励んでいます。この日は、武豊中学校のコートに27名が集まり、男子10人・女子17人が参加していました。活動には「武豊クラブ・ジョイフル」の協力を得て指導者を確保。この日は、教員2名とクラブ指導者2名の4人体制で指導にあたり、短時間でも集中して練習できるよう時間を区切ったメニューが組まれています。基本練習からボレーやスマッシュまで、一つ一つの動きを丁寧に教えていました。参加した生徒からは「塾と両立しながら通い、上達を実感している。部活動とは違う仲間と出会え、人間関係が広がった(富貴中女子)」、「強くなりたいと思って参加した。部活動よりも時間にゆとりをもって練習でき、友達に会えるのも楽しみ(武豊中男子)」といった声が聞かれました。指導にあたる竹内先生は「チームで勝利を目指すだけでなく、ソフトテニスの楽しさを伝えたい。将来はクラブの卒業生が指導者として戻ってきてくれることが目標」と語ります。地域に新たなつながりを生みながら、ソフトテニスを楽しむ場として歩み始めた武豊・富貴STC。

今後の活動にも期待が高まります。

武豊町地域クラブでスポーツの秋を楽しもう！

武豊町では現在、中学生が参加できる22の地域クラブ団体が、スポーツや文化芸術の活動を行っています。お子さんが興味のある地域クラブがあれば、ぜひ参加をご検討ください。見学希望や、団体への質問がある場合は、配信メールに記載されたURLから各団体へ直接連絡をしてください。